

第16回 善通寺市学校等再編整備討委員会 概要

1. 日時 令和8年2月16日(月) 午後7時～午後8時25分
場所 善通寺市役所4階 401～403会議室

2. 出席委員

片山 昭彦	委員	高畑 智	委員
畑田 裕康	委員	米村 徹	委員
大林 勇太	委員	横田 飛真	委員
西川 真有	委員	徳山 恵	委員
田嶋 三枝	委員	町田 由紀	委員
山本 幾代	委員	井内 礼子	委員
田中 康隆	委員	松村 早記	委員
草薙 めぐみ	委員	高畑 光宏	委員

3. 市側出席者

教育部長 尾松 幸夫

学校再編対策課

課長 山地 匠 課長補佐 内田 貴史 課長補佐 林 健一郎

教育総務課

課長 高畑 往立

4. 議 事

グループワーク 小・中学校と2園目のこども園の配置について

全体会議

5. その他

6. 概 要

〔事務局〕

本日は、昼間のお仕事等でお疲れのところ、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。ただいまから、第16回の学校等再編整備検討委員会を開催します。片山会長、進行の方をよろしく申し上げます。

〔会長〕

議論も佳境に入っていますので、大変な状況であるかと思いますが、しっかりと議論をしながら、良い方向に進めていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

それでは、議事に入りたいと思っております。

まず、本日の進め方と資料についての説明を、事務局から申し上げます。

〔事務局〕

本日の進め方を説明します。

前回の検討委員会では、小学校を西中学校と竜川小学校の場所に設置する案と、西中学校と、東部小学校北側の私有地を購入して設置する案、この2つの案についてのメリットとデメリットを出し合っていました。

今回は、それを踏まえて、この2案のどちらを検討委員会の第1案とするのかを、まず、グループワークにて決めていただきたいと思います。

2園目のこども園については、小学校の案が決まってから検討したいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

全体会議の冒頭に、グループごとにどのような理由でどちらの案に決まったかを発表をしていただきます。

それでは、資料の説明をいたします。

まず、資料の確認から申し上げます。

資料1ですが、A4横の1枚もので、前回のグループワークのまとめです。

資料2は、A4縦の校区割の図で、前回も使用した2つの案2-①と2-②、それに参考資料として2-②参考を加え、合計で3枚あります。

資料3はA4横の1枚もので、学校再編後の位置図と候補地の図です。

資料4-①、4-②は、市有地である丸山町住宅跡地の資料となっています。

それでは、資料の説明をさせていただきます。

まず、資料1ですが、前回のグループワークをまとめたものです。

小学校の配置案として、西中学校と竜川小学校案と、西中学校と土地購入案の2つの案のメリット・デメリットに関する意見をまとめたものになります。

今回、再度検討することになりますので、前回出たメリット・デメリットを見て、何に重点を置くか、何を優先するかを、もう一度整理をして議論していただけたらと思います。

次に、資料②です。

資料2-①と2-②に関しては前回使用したのと同じ、校区割のパターンとその際の学校毎のクラス数やスクールバスの費用をまとめた資料です。

3枚目の資料2-②(参考)となっている資料については、前回2-②案の校区割のデメリットとして、東部と竜川の校区が割れるという意見がありましたので、参考までに、以前の校区割を再度お示ししています。この案の場合、校区は割れずに、今のままの竜川、東部、筆岡を合わせた校区になりますが、児童数・クラス数でもう一方の学校と大きな差が出るということで、いったん見送られたものです。こういう案もありましたので、参考にしていただければと思います。

次に資料3です。

これは、現状を整理する意味で、現在、検討委員会で決まっていることや、参考となる情報を図にまとめたものです。

まず、検討委員会でも市でも決定していることとしては、こども園を2園設置するうちの、1園目のこども園を竜川小学校の東の市有地に設置するということです。これは、昨年8月に検討委員会から中間報告を受け、それをもとに市で基本方針を策定し、議会で予算の承認を得られましたので、すでに設計業者の選定に入っています。図の中では、青色のピンで表示しています。

次に、検討委員会の中で合意が取れているものとして、中学校を東中学校1校にするという案です。こちらは、東中学校のところに、紫色のピンで表示しています。

小学校は、2校設置することとし、そのうち1校は中学校が東中学校1校になった場合に、空くこととなる西中学校跡地に1校配置するという案で、こちらも本検討委員会にて合意を得られていますので、西中学校のところに赤色のピンで表示しています。

その他、検討委員会で決めていく必要があるのは、現在議論している2校目の小学校をどこに設置するのか、それと2園目のこども園をどこに設置するのかの2点になります。これについては、2校目の小学校の候補地として、竜川小と、下吉田町の民有地の2箇所緑色のピンで表示しています。こども園については、話が廻りますが、3園案のときの候補地として、1つ目が竜川小学校の東の市有地、2つ目が市の中央部付近で、中央小学校や今回資料を用意しています丸山町住宅跡地、3つ目に具体的な候補地はないですが東部・筆岡付近という3箇所が検討の候補でした。1園目は竜川に決定済みです。2園目については、小・中学校と併せて検討することになっていましたので、現段階では有力な候補地を示すまでには至っていません。

今回、丸山町住宅跡地について、よく分からないという方もいらっしゃるかと思いますので、資料4-①と4-②を用意しました。これについては、小学校の議論が終わってから説明したいと思います。

それでは、グループワークに入っていただきますが、前回同様、次回の資料としたいので、メモ書き程度で結構ですので、どなたかに記録係をお願いします。グループワークの後、その記録をもとに、全体会議の最初にどなたかに発表していただきますので、発表者も決めておいてください。よろしくお願いします。

〔議長〕

それでは、19時30分までの間、グループワークを進めてください。

～グループワーク（非公開）～

〔議長〕

これからは、全体での議論をしていきます。まず、小学校の2つの案について、どういう理由でどちらを第1案とするのか、グループごとに発表していただきます。

もし、断定できないようでしたら、メリット・デメリットについて、グループ内で重点的に議論があった箇所について発表していただくのも大丈夫です。

それでは、グループAからお願いします。

〔グループA〕

現実的などころで、西中学校・竜川小学校案だという意見が出ました。ただし、これには条件があり、竜川小学校付近の交通状況について、保護者の送迎時などが気になるので、車が通行する部分と人が歩く部分がきちんと分離される形で設計されるなど、送迎時の交通状況に手立てがされるならばという条件付きの意見でした。

それと、竜川小学校案で校舎を建てる際に運動場が使用できなくなり、2～3年の間在校生が我慢しなくてはいけなくなるので、その部分の配慮という面でクリアできるのであればという条件付きの意見もありました。

また、資料2のとおり、西中学校・竜川小学校案だと円の重なりが少ないので、市民の理解が得やすい、という意見も出ました。

土地購入の方に関しては、現状では候補地が決定していないので、どのような交通状況になるかなどイメージができないということで、あまり議論が進みませんでした。

〔グループB〕

はっきりとした結論は出ませんでした。

その理由ですが、どちらの案も一長一短で、建設する時点での子ども達のことを考えるのか、建設後の将来的な子ども達のことを考えるのかで意見が分かれました。

西中学校・竜川小学校案だと、1園目のこども園が隣にあるということで、連携がとりやすく、就学前施設から小学校への意向がスムーズに行えるというのが大きなメリットであるという意見が出ました。

それに対し、建築期間中は、在校生に色々な制限がかかり、また、運動場を使用している社会体育団体など地域への影響もあるという意見もありました。

また、校区外申請なども可能なので、現在事務局が示しているクラス数についても、予想と違う結果になるのではないかという意見も出ました。

そのような議論をする中、どちらが良いか決めかねているという状況です。

〔グループC〕

こちらも、どちらが良いという結論には至りませんでした。

まず、クラス数の見込みについて、新たな学校が建設されるとなればその場所付近に新築家屋が増えるでしょうし、現状の数値から算出したクラス数の見込とは違ってくるのではないかという意見が出ました。

土地を購入する案では、土地購入費用が約3億だと仮定して、その3億について、建設費用全体として考えれば、決して高額だとは言えず、将来のことを考えれば必要な範囲の支出ではないかという意見も出ました。それに、竜川地区だと丸亀市に寄り過ぎているのではないかという意見がありました。

それから、いずれの案にしてもスタディーアフタースクールが行えるような施設が必要ですが、竜川地区は利用児童の数が多いので相当な規模のものが必要となると思います。

また、現状では私立の就学前施設に通っている子どもが多いので、こども園が隣になくてもいいのではないか、という意見も出ました。

〔議長〕

ありがとうございました。

グループの発表を整理すると、Aグループは、どちらかと言えば竜川小学校の方の案で、B・Cグループについてはどちらか一方に決めかねている、という状況です。

本来であれば、各グループの意見を突き詰めて結論を出したいところですが、3グループの発表を聞くとなかなか難しいと感じますので、懸念点などを一つずつ検証していきます。

まず、竜川小学校周辺の交通の混雑については、状況がはっきりしないためこのまま議論を進めることが難しいと思います。

工事期間中に運動場が使用できない点についてですが、Bグループからもう少し詳しく議論の内容を説明してもらえますか。

〔B グループ〕

例えば、竜川小学校では少年野球チームが運動場を使用していますが工事期間中は使用できなくなります。その場合、代替の場所を探さないといけません。丸亀の城東小学校が同様な状況で少年野球のチームが練習場所を探すのに大変な思いをしていると聞いています。学校の体育の授業が大事なのももちろんですが、社会体育の活動にも影響を及ぼすので、このような意見が出ました。

〔議長〕

A グループは、いかがですか。

〔A グループ〕

A グループで出た意見は、学校の授業に関するものだけです。例えば、建設中は近くに用地を確保して学校の体育などの授業ができればいいねというものです。

〔議長〕

たしかに、建設工事期間中に運動場が使えなくなることは、子ども達にとっては不利益であると思います。

次に、こども園と隣接している必要性について検証したいと思います。

B グループの議論について、もう少し詳しく教えてもらえますか。

〔グループ B〕

例えば、中央小学校区の場合、新一年生は中央幼稚園に通っていなかった子どもが多いが、そのような状況でも特に不都合は生じていません。

東部小学校についても、のぞみこども園から毎年10人以上が入学していますし、そこまで考慮する必要はないのかなと思いました。

〔議長〕

各グループで発表していただいた意見のポイントを再確認させていただきました。

また、児童数・クラス数について、資料2の土地購入案によると、クラス数が2050年には2クラスになっていることが気になるという声がある一方で、新しい小学校が建設されれば、近くに住宅が増えるので予想と異なってくるのではないかという声もありました。

前回の議論の一覧を見ると今回の発表の中で出てこなかったのは、西中学校・竜川小

学校案のデメリットとして2 km圏内に丸亀市が多く含まれるという点だと思います。逆に、2-②の案については、2 km圏内が市内で重なる部分が多い、という特徴があります。

〔議長〕

ここからは、個別に意見をお伺いしようと思いますが、いかがですか。

〔委員 A〕

私立の就学前施設に通っている子どもの保護者は、市立こども園と小学校が隣接していてもメリットはないという意見があり、では何がメリットなのかと考えたところ、保護者にとってはこども園と放課後児童クラブ施設が隣接しているという方が大事ではないのかと考えました。こども園と小学校に加えて放課後児童クラブをセットで考えたとき、面積的なキャパシティがあるのかどうかそのような検討もしてほしいです。

〔委員 B〕

例えば、幼稚園のスタディーアフタースクールを利用して、小学生の子どももいて放課後児童クラブを利用している場合、竜川のようにすぐ隣にそれぞれの施設があることは便利だと自分の体験からも感じます。そのように全部が揃っているから、竜川地区に家を建てよう、住もうと考える人が多いのではないかと思います。

〔委員 C〕

小学校から放課後児童クラブに子どもが歩いていく場合、保護者に責任があります。

こども園で放課後児童クラブを運営するのであれば、そこまで小学校から歩いて行けるということがひとつの条件になり、距離が遠いと交通リスクなどが生じます。仮に、竜川小学校内に放課後児童クラブがあれば問題ありませんが、とても離れた民間施設などで実施されるのであれば大きく変わってくると感じます。

〔事務局〕

放課後児童クラブは小学生を対象としていますので、小学校の敷地内に設置する予定です。また、資料2-①に記載しています敷地面積であれば、十分に可能だと考えています。

〔委員 D〕

十分可能というのは、運動場に仮設校舎を建てなくても大丈夫ということですか。

〔事務局〕

工事完了後であれば、放課後児童クラブの施設用地が確保できるだろうという話です。建設工事中は、仮設校舎を建てるのであれば運動場を使用せざるを得ないため、その場合、工事にかかる前に代替地の確保などを十分検討しないといけないと考えています。

〔委員 E〕

とりあえず、少しでもデメリットをなくしてこのような形でどうかというプランを、西中学校・竜川小学校案にて事務局から提示してもらうことはできないでしょうか。

2-①で、交通問題と運動場に仮設校舎を設置しないといけないのは明らかな課題だと思いますが、それを完全にクリアするのは難しいとして、何か効果的な対策などがあれば議論がしやすくなると感じます。

〔事務局〕

竜川小学校案の交通状況についてですが、子ども園の設計をする際に混雑しないような形の案を設計会社に出してもらえないかと考えていますので、こども園の設計をする過程で、何か見えてくる可能性はあります。

また、運動場が使えないことについては、対応策の案を前回資料にてお示ししていますが、体育館を使用する、近隣の小学校の運動場を借りる、市の施設を使用するなどの選択肢の中から現実的に選択していくことになると考えています。

〔委員 A〕

竜川小学校の2 km圏内に丸亀市が大きく含まれることについて、文科省は4 km圏内が徒歩通学可能などと言っていますが、まちづくりという視点からはラストワンマイル、1.5 km圏内に何があるかで住む場所を考えるので、円を1.5 km圏内とすると重複する部分が少なくなり状況が変わってくるかと思います。ちなみに、スクールバスの運行については2 km圏外でないと難しいのでしょうか。

〔事務局〕

現時点では2 km圏内で資料を作成していますが、実際にスクールバスの設計をする際には、改めて検討することになるかと思います。文科省が示している4 kmは現実的でないかと思いますが、保護者の意見などを参考に決めていかなければならないと考えています。

〔議長〕

難しい問題にとりかかっていますが、土地購入案に関する議論については、できるだけ「できない」ではなく、「できる」という方向の検討をしていかないと、委員会で議論する意味合いが薄れてしまいますので、「できる」を前提に議論を進めていただきたいと思います。

〔委員 E〕

竜川小学校案では交通状況に課題があると考えていますが、土地購入案の場合、通学・通勤など交通要件的に問題がない土地を購入できるという前提で考えていいのでしょうか。

〔議長〕

スムーズになる可能性はあると思いますが、そこまで極端な前提にするのはどうでしょうか。

〔委員 D〕

児童を優先するのが一番だと思いますので、土地購入案の場合はどの校区の児童にも負担がかからず進んで行くと思います。

〔委員 F〕

私も、子どものことを優先的に考えるべきだと思います。その点で、私は、こども園が小学校の横にあることにこだわっています。現在、竜川幼稚園では、私立の就学前施設の子どもと一緒に園児が小学生との交流会を行っているのですが、就学前施設と小学校がスムーズに接続できるよう両方の先生が教育方針をすり合わせたり、運動会を一緒にするなど小学生と幼稚園児がつながったりしていますので隣にあることは大事だと思います。ただ、新校舎を建築する間、子ども達が不便な思いをするということについては、何か手立てを考えないといけないと思います。

〔委員 E〕

比較論は、できるだけ条件を揃えないといけないので、②のパターンで土地が確保できる前提で考えるということであれば、①のパターンだと、竜川地区に運動場用地を確保できるという見込みで考えてもかまわないでしょうか。

〔事務局〕

考えられると思います。これは私案ですが、現在竜川幼稚園と竜川保育所が建っている土地を更地にして使用する、近隣で一時的に借地する、運動会を市民体育館でするなどいくつかの方法が考えられますので、その前提でお考えいただいていたと思います。

〔議長〕

なかなか結論に至るのが難しい状況ですが、委員会としては、子ども達のことを第一に考えながら、何らかの提案をしていかないとはいけませんし、次回に引き続き、この議論を続けても大丈夫でしょうか。

〔事務局〕

深く議論していただいた方が良いと思います。

〔議長〕

議論のポイントは、ある程度まとまりかけていると思います。

今回は、議論を煮詰める回という位置づけとし、次回、さらに深く議論し結論を出したいと思います。

現時点で、このような資料を用意してほしいといった要望はありますか

〔委員 G〕

先ほどから出ている問題に対して、事務局としてはどのように回避していくべきと考えているかの資料がほしいです。

〔委員 D〕

購入予定地の視察はできますか。

〔事務局〕

地権者も驚かれると思いますので、現時点では、そのようなことは控えるべきだと考えています。次回までに、どのあたりまで踏み込んだ話ができるのか、検討します。

〔議長〕

2-②(参考)については、除外するという事によろしいですか。

〔委員〕

特に異議なし。

〔議長〕

それでは、以上を持ちまして、本日の会議を終了します。

次回は3月16日（月）になります。

時間は、これまでと同じく19時からを予定していますので、よろしくお願いいたします。

来年度以降の日程についても、次回お示ししようと思います。

みなさん、たいへんお疲れ様でした。

20時25分 終了